

保護司会だより

あわら地区保護司会
発行 令和7年2月

第 6 号



社会を明るくする運動作品 授賞式(令和6年10月9日)

人とのつながりを大切に

社会を明るくする運動に寄せて

あわら市教育長

甲斐 和浩

あわら地区保護司会の皆さま方には、日頃より更生保護活動に加え、あわら市少年愛護センターの街頭補導への協力など青少年の健全育成に多大なご尽力をいただいておりますことに深く敬意と感謝を申し上げます。

テレビや新聞では、毎日のように色々な事件が報道されています。犯罪に巻き込まれた人、非行や罪を犯してしまった人は、その事件をきっかけにそれぞれの人生が大きく歪められていきます。そんな報道を聞くたびに心が締めつけられる思いがします。

社会を明るくする運動は、地域社会が一体となり、過ちを犯した人を受け入れ、見守り支えることで、犯罪のない安全で明るい社会を築くことを目指す活動です。教育委員会としても、この趣旨に深く賛同し、子供たちが人権を尊重し、地域とのつながりを大切にできるよう学校教育や地域活動を通じて積極的に取り組んでまいりたいと考えています。近年はデジタル技術の発展などにより、人と人との関わりが希薄になる傾向があります。このような中、学校では、子供たちに、人権を尊重する大切さや一人一人が互いを思いやり、助け合うなど人と人がつながることの重要性を道徳や総合的な学習の時間などで教えています。

また、地域活動やボランティアを通じて、子供たちが地域社会との関わりを体験することは、責任感や社会性を育む貴重な機会です。例えば、清掃活動や高齢者との交流を通して、地域の大人たちと協力し合う経験は、子供たちに「自分は地域の一員である」という自覚を芽生えさせます。

保護司会の皆さま方の活動は、過ちを犯した人の立ち直りを支える大変意義深いものです。子供たちにとっても皆さまの取り組みを知ることは「誰もが支え合う大切さ」を学ぶ機会となります。

教育委員会としても、引き続き皆さまと協力し、子供たちが他者を思いやり、地域社会とともに成長できる環境づくりを進めてまいります。

結びに、犯罪のない安全で明るい社会と子供たちの健全な育成を実現するため、今後とも保護司の皆さまにお力添えを賜りますとともに、あわら地区保護司会の皆さまのさらなるご活躍を心からお祈り申し上げます。

保護司はボランティアです。
あわら地区では
15名が活動しています。
更生保護女性会は改善更生に協力するボランティア団体です。あわら地区では
113名が活動しています。



更生保護女性会
マスコット
オコジョさん

あわら市
「社会を明るくする運動」
小学生作文の部

最優秀賞

「私の社会を明るくする運動」

北潟小学校 6年

津田 二葉

私は、「社会を明るくする運動」を考えた時に、明るいイメージとは、花がさいていたり、みんながやさしくて元気ににこにこしていたり、安全な生活ができることだと思います。私は、社会を明るくすることにあまり関わっていないと思っていました。そのとき、お母さんに「もうできてるよ」と言われたので、よく考えてみると思いあたるのが二つでできました。

一つ目は、ラジオ体操そのことです。私の地区は、子供が四人しかいないので、近所の方に来てほしいと考えました。このことをお母さんに話してみると「いいね」と言われて招待状を作りました。わたす前は、うまく話せるかな、一人で行けるかなと思ってどきどきしました。妹と父にたのんで一しよに来てもらいました。近所の方は、「休みの日はいいね」「ありがとう」と言ってくれました。

あわら市

「社会を明るくする運動」

中学生作文の部

最優秀賞

「たすけあいのわ」

金津中学校2年

岡崎 馨瑚

私は、犯罪のニュースを見るたびにとてもドキッとします。なぜなら、それはだれにいつ起こるか分からないことだからです。私には関係がないことだという保証は全くなく、事件のニュースのコメントで地域の人達は、「そんなふうには見えなかった」と言っているのをよく見かけます。

私は、うまれたときから悪い人なんていないと思っています。罪を犯してしまう人達には、みんな何かしらのきっかけがあったのだと思います。調べてみると犯罪は、多くの場合精神が不安定な状態で起きていることが分かりました。精神を安定させるには、心身が健康でないといけないように、きちんと食事をとったり、適度な睡眠をとったりと、一人一人がからだとこころの健康を心がけるといいと思いました。

しかし現状では、それができずに事件やトラブルがたくさん起きています。

ラジオ体操が始まった日には、五人の方が参加してくれて「やったーわたしてよかった」とうれしくなりました。

一つ目は、北潟祭のことです。北潟祭は一日目は東地区、二日目は西地区に分かれて二日間おみこしをかついで回ります。私はお祭りが好きなので二日間参加しました。

一日目は、子どもみこしについて「ワッショイ」のかけ声を人一倍がんばりました。すると周りの方から「いいね」と言われてうれしくて、さらにもっと大きな声でがんばりました。二日目は、先頭に立っててんぐを持ちました。かけ声は「やがれやがれ」「おうちゃんさい」と言います。私は、最初から最後まで力いっぱいしました。すると「よかったいい声や」「感動した」「今までまれにみるいいてんぐや」といろんな方からほめてもらいました。私は、小学校最後だから思いきつて声を出しました。二日間とても暑かったけれど気合いを入れてがんばりました。

ラジオ体操そうと北潟祭のことで、私も「社会を明るくする運動」に関わっていることに気づきました。

例えば、ラジオ体操そのの招待状をわたさなかったら、今来てくれている人がラジオ体操そうに参加することはないと思うし、近所の方の関わりも今までどおりだったと思います。

そこで私は、みんなで助け合えばいいと思いました。人間一人ではできないことも、みんなならできることはたくさんあります。だから一人一人ではなく、みんなが助け合いのこころを大切にするといいと考えました。なぜなら私が、みんなに助けられて救われた経験があるからです。

ある時私は、ささいなことをきっかけに友達とケンカをしてしまいました。そんなつもりはなくても、言葉がうまく通じず、すれ違いが起きてしまいました。それまでは学校が大好きで、毎日がとても楽しかったけど、その時は学校に行くのがいやで仕方がありませんでした。しかし、そんな私の異変に気付いたみんなが助けてくれました。私の気がすむまで話をきいてくれたり、いっしょに怒ったり悲しんでくれたり、仲直りができるようにサポートしてくれたりしました。私はその時、みんなの優しさを改めて感じることで、不安が一気に消え去っていったような気がしました。おかげでもう一度ケンカした友達と話せて仲直りすることができ、今も楽しく学校に行けていてとても幸せだなと思います。反対に、私がまわりの人の異変に気付くこともあります。

祭では、小さい声でかけ声をしていたら小学校最後なのにいい思い出にならないし、年下のみんなのおてほんにならないと思います。私は、がんばることが人の気持ちを明るくできる、元気をあたえると思うから、いつもの日常生活でできると思います。これからは、中学校に入り部活があったり、勉強が難しくなったりすると思います。けれど今までのように、大きな声であいさつをしたり、いつまでも笑顔と元気をわすれたりせず、少しでも社会を明るくできるようにしたいです。

想う、

ときには足をとめ。

誰だって、すぐには本音を話せない。
誰だって、すぐには希望を抱けない。
誰だって、すぐには変わることができない。

でも、たとえ時間がかかっても、
たとえ過去にあやまちがあっても、
誰かと一緒に希望はある。

声をかけ、背中を押し、
あきらめずに寄り添い続ける。
信じて待つ人の存在は、
立ち直りへの大きな力になるだろう。

私たちの「待つ時間」は、
きっと誰かの「変わっていく時間」。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第74回 社会を明るくする運動



社明 リーフレット配布の様子

そんなとき、私はその子を絶対に一人にしないようにして、その子の気持ちに寄りそって話を聞いてあげたり、私にできるかぎりのサポートをしたりしました。それでその子が元気になって、笑顔が見れたときは、私も自然と笑顔になって、自分のことのようにうれしくなりました。

このような体験から、私は本当につらいときはまわりに助けを求めること、そして周りはそのSOSサインに気付いてあげることが重要だと思いました。

社会を明るくする運動の作文を書いて、私は改めて人とのつながりの大切さを知ることができました。私はこれから、まず身近なことから助け合いの輪を広げていきたいと思いました。

あわら市「社会を明るくする運動」作品コンクール

最優秀賞・優秀賞の皆さん おめでとうございます

小学生ポスターの部

最優秀賞

優秀賞

小学生習字の部

最優秀賞

優秀賞

勝木	笹原	宮川	門前	摩垣	小嶋	川島	西田	宮下	松嶋	川嶋	加納	高嶋	山下	土岐	赤尾	西田	小村	本田	高江	三澤	木村	島川	北
愛莉	心花	衣純	倅叶	蓮歩	奈緒	汐里	菜々	涼太朗	悠暉	ゆづ	蓮愛	芙愛	悠馬	心虹	奏音	愛	皇平	真菜	拓己	ひかり	絢羽	悠生	
(北潟	(本荘	(本荘	(芦原	(芦原	(伊井	(伊井	(伊井	(細呂木	(金津東	(金津東	(金津東	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(北潟	(芦原	(金津	(金津	(金津	(金津
5年)	5年)	6年)	4年)	6年)	4年)	5年)	6年)	5年)	4年)	5年)	6年)	5年)	5年)	5年)	6年)	6年)	6年)	6年)	6年)	4年)	5年)	5年)	

中学生習字の部

最優秀賞

優秀賞

白崎	堀江	加藤	三澤	竹内	中屋敷	小西	高江	木村	岡寄	伊藤	安父	広部	宮川	竹内	二俣	小林	石田	中山
紬	綾真	綾乃	綾乃	陽祐	綾乃	遼真	結菜	真奏	碧乃	未来	心春	里桜	舞由子	菜々江	祥乃	琉愛	梨紗	愛璃
(芦原	(芦原	(芦原	(芦原	(芦原	(芦原	(芦原	(芦原	(芦原	(芦原	(芦原	(金津	(金津	(金津	(芦原	(芦原	(芦原	(金津	(金津
1年)	1年)	1年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	3年)	3年)	3年)	1年)	2年)	3年)	1年)	2年)	3年)	2年)	3年)

小学生作文の部

最優秀賞
優秀賞

中学生作文の部

最優秀賞
優秀賞

川端	牧田	前田	中山	辻橋	高木	小村	木村	北	森川	水波	廣部	原	出蔵	木下	石田	岡崎	津田	中川	高江
里奈	樹季	滯里	結菜	あおい	杏奈	歩	ころ	胡桃	瑞己	久美望	里桜	翼紗	怜太郎	未子	梨紗	馨瑚	二葉	董	真菜
(芦原	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(金津	(北潟	(金津東	(北潟
1年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	2年)	6年)	6年)	6年)

編集後記

今年も異常気象で令和の米騒動がおきました。これを機に、食の大切さ、そして地域での助け合いの大切さを改めて感じます。地域での温かい支え合いを育んでいきましよう。



～～～ サポートセンターあわら ～～～
★場所 あわら市湯のまち公民館内
★開所時間 月・水・金曜日（祝日は休み）
午前9時～午後3時
★電話・FAX 0776-77-1006

発行・編集
あわら地区保護司会
事務局
あわら湯のまち公民館
更生保護
サポートセンターあわら